

平成 12 年における博多港の港勢

1. 概要

平成 12 年における博多港の港勢は、船舶入港隻数が 42,661 隻(前年比 105.7%)総トン数は 5,974 万総トン(同 106.6%)であった。

〈表-1, 図-1参照〉また、海上出入貨物量は、外国貿易 1,192 万トン(同 106.4%)、内国貿易 2,433 万トン(同 98.8%)となり、総貨物量 3,625 万トン(同 101.1%)であった。〈表-2, 図-2参照〉

図-1 入港船舶の推移

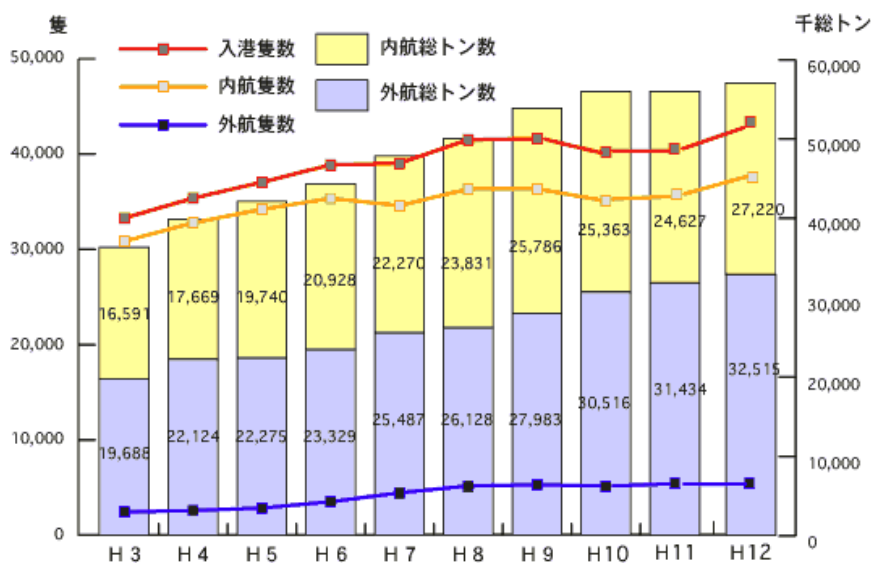
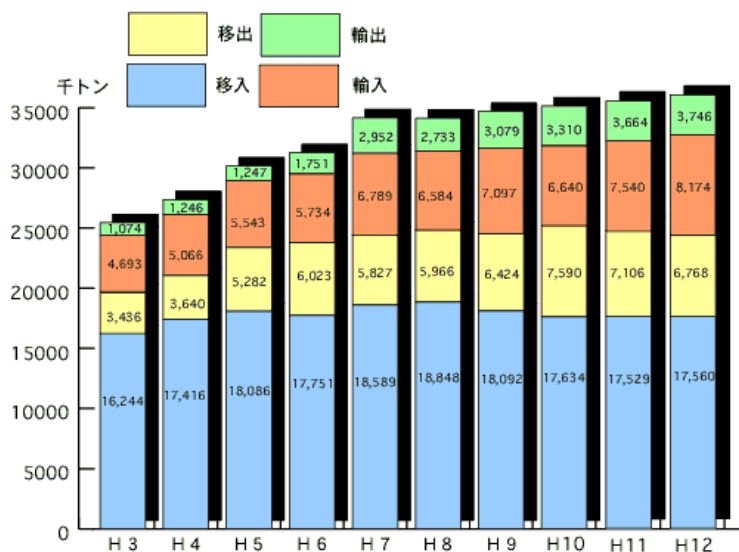


図-2 取扱貨物量の推移



※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない

2. 入港船舶

入港船舶数は42,661隻(前年比105.7%)、総トン数は5,974万総トン(同106.6%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数5,382隻(同99.0%)・総トン数3,251万総トン(同103.4%)、内航は隻数37,279隻(同106.8%)・総トン数2,722万総トン(同110.5%)であった。〈図-1、表-1参照〉

表-1 入港船舶の推移

(単位:隻、トン)

区分		平成12年		11年		10年		9年	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
外航	隻数	5,382	99.0%	5,437	105.5%	5,152	97.4%	5,287	102.3%
	総トン数	32,514,774	103.4%	31,434,123	103.0%	30,515,568	109.1%	27,982,762	107.1%
内航	隻数	37,279	106.8%	34,909	99.5%	35,071	96.5%	36,343	100.0%
	総トン数	27,220,368	110.5%	24,626,720	97.1%	25,363,404	98.4%	25,786,097	108.2%
総数	隻数	42,661	105.7%	40,346	100.3%	40,223	96.6%	41,630	100.3%
	総トン数	59,735,142	106.6%	56,060,843	100.3%	55,878,972	103.9%	53,768,859	107.6%

3. 海上出入貨物量

海上出入貨物量は、外国貿易1,192万トン(前年比106.4%)、内国貿易2,433万トン(同98.8%)であり、総貨物量は3,625万トン(同101.1%)であった。これを出入別に割合及びその貨物量を見ると、輸移出は29.0%・1,051万トン、輸移入は71.0%・2,573万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。〈図-2、表-2参照〉

表-2 海上出入貨物量の推移

(単位:トン)

区分		平成12年		11年		10年		9年	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
外国貿易	輸出	3,745,795	102.2%	3,663,816	110.7%	3,310,235	107.5%	3,079,474	112.7%
	輸入	8,174,385	108.4%	7,539,928	113.5%	6,640,259	93.6%	7,097,007	107.8%
	計	11,920,180	106.4%	11,203,744	112.6%	9,950,494	97.8%	10,176,481	109.2%
内国貿易	移出	6,768,314	95.3%	7,105,764	93.6%	7,590,070	118.1%	6,424,497	107.7%
	移入	17,560,002	100.2%	17,528,518	99.4%	17,633,699	97.5%	18,091,939	96.0%
	計	24,328,316	98.8%	24,634,282	97.7%	25,223,769	102.9%	24,516,436	98.8%
総数	輸移出	10,514,109	97.6%	10,769,580	98.8%	10,900,305	114.7%	9,503,971	109.3%
	輸移入	25,734,387	102.7%	25,068,446	103.3%	24,273,958	96.4%	25,188,946	99.0%
	計	36,248,496	101.1%	35,838,026	101.9%	35,174,263	101.4%	34,692,917	101.6%

※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない

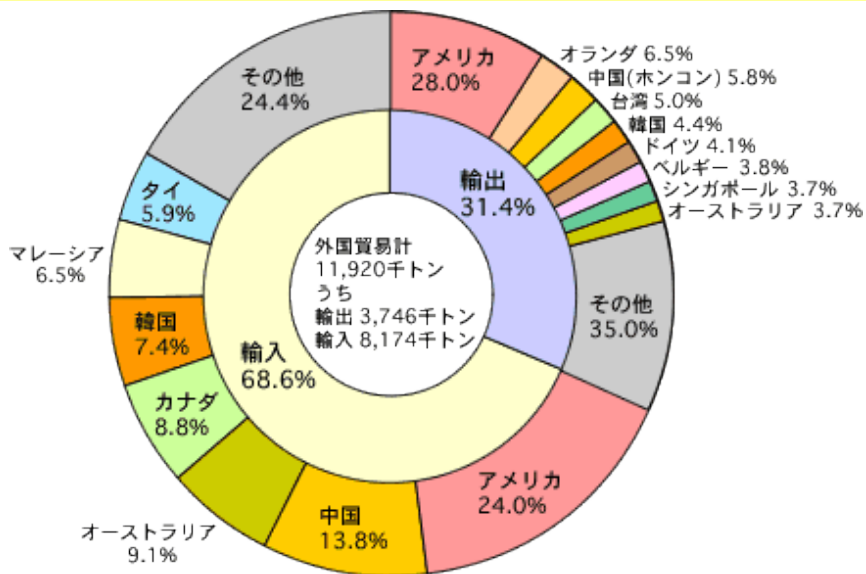
表-3 フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数の推移

(単位:トン)

区分	平成12年		11年		10年		9年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
移出	2,450,550	121.9%	2,009,780	95.9%	2,094,855	105.8%	1,980,755	170.5%
移入	2,654,175	113.7%	2,334,000	101.5%	2,299,185	103.8%	2,214,170	171.7%
計	5,104,725	117.5%	4,343,780	98.9%	4,394,040	104.7%	4,194,925	171.1%

3-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



3-1-1. 輸出

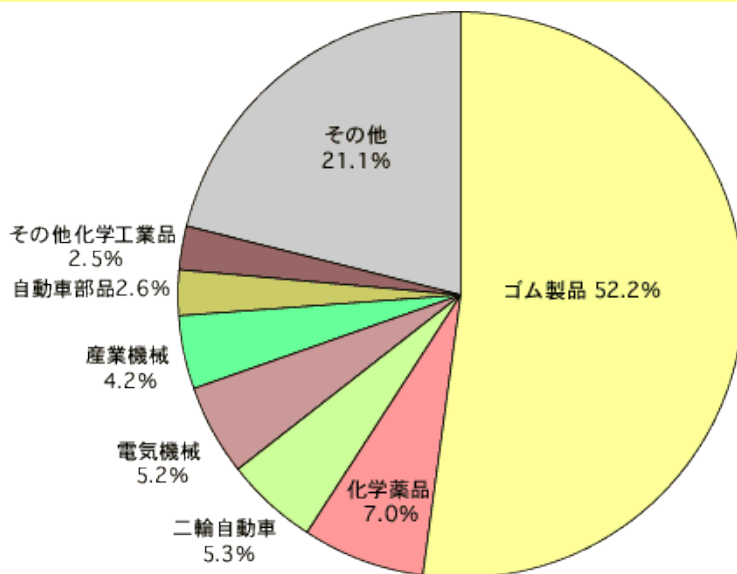
(1)貨物量

輸出貨物量は 3,746 千トン(対前年比 102.2%)であり、外国貿易の約 31.4%を占めている。<表-2, 図-3参照>

(2)品種別

輸出貨物量 3,746 千トンのうち「ゴム製品」が 1,955 千トン(52.2%)、「化学薬品」が 264 千トン(7.0%)、「二輪自動車」が 198 千トン(5.3%)であった。<図-4参照>

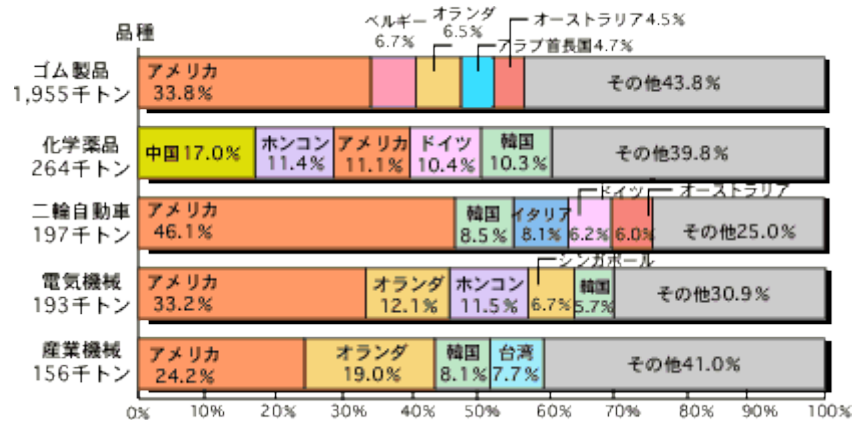
図-4 輸出(3,746千トン)



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、アメリカが 1,050 千トン(28.0%)、オランダが 243 千トン(6.5%)、中国(ホンコン)が 216 千トン(5.8%)以下台湾・韓国と続いている。<図-3参照>

図-5 上位5品種の輸出相手国・地域割合



3-1-2. 輸入

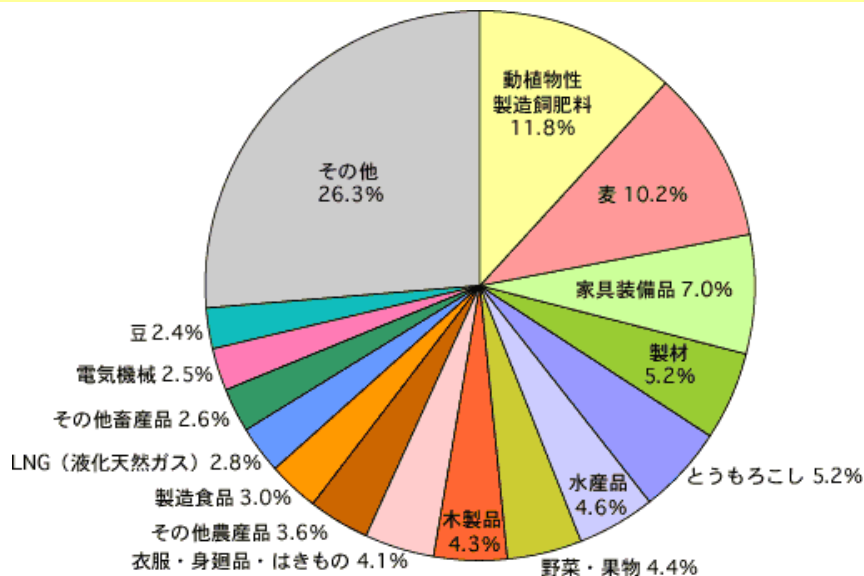
(1)貨物量

輸入貨物量は 8,174 千トン(前年比 108.4%)であり、外国貿易の 68.6%を占めている。<表-2, 図-3参照>

(2)品種別

輸入貨物量 8,174 千トンのうち「動植物性製造飼肥料」が 962 千トン(11.8%)、「麦」が 833 千トン(10.2%)、「家具
 装備品」が 571 千トン(7.0%)であった。<図-6参照>

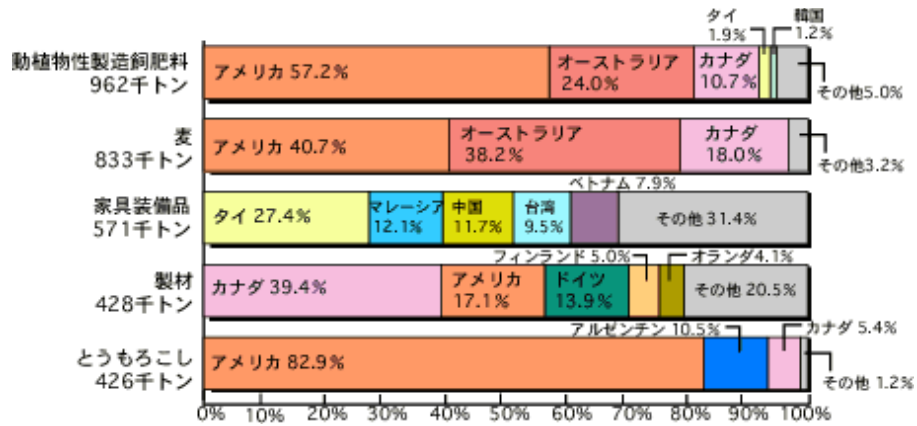
図-6 輸入(8,174千トン)



(3)主要国・地域別

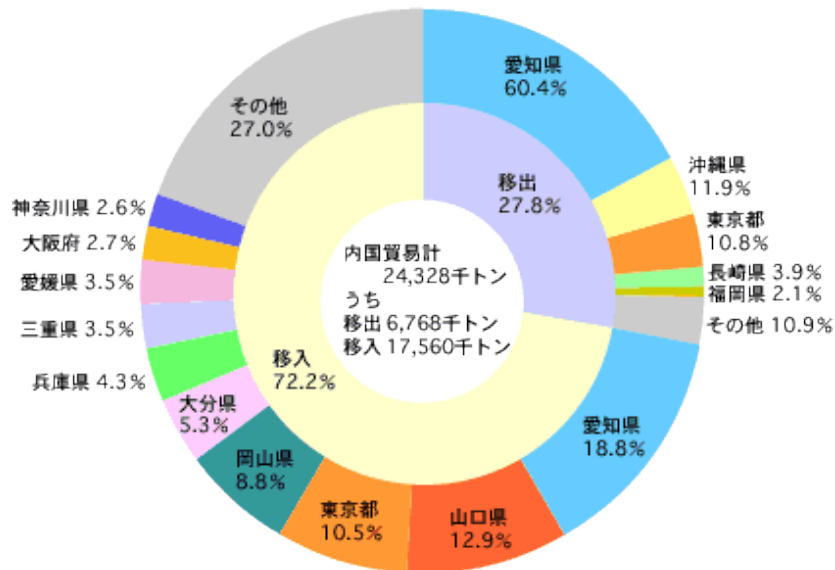
輸入相手国・地域別では、アメリカが1,964千トン(24.0%)、中国が1,132千トン(13.8%)、オーストラリアが743千トン(9.1%)以下カナダ・韓国と続いている。<図-3参照>

図-7 上位5品種の輸入相手国・地域割合



3-2. 内国貿易

図-8 内国貿易(移出・移入相手県別)



3-2-1. 移出

(1)貨物量

移出貨物量は 6,768 千トン(前年比 95.3%)であり、内国貿易の 27.8%を占めている。<表-2, 図-8参照>

(2)品種別

移出貨物量 6,768 千トンのうち「その他輸送機械」が 2,332 千トン(34.5%)、「完成自動車」が 2,128 千トン(31.4%)、「水」が 280 千トン(4.1%)であった。<図-9参照>

(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、愛知県が 4,089 千トン(60.4%)、沖縄県が 805 千トン(11.9%)、東京都が 732 千トン(10.8%)以下長崎県・福岡県と続いている。<図-8参照>

図-9 移出(6,768千トン)

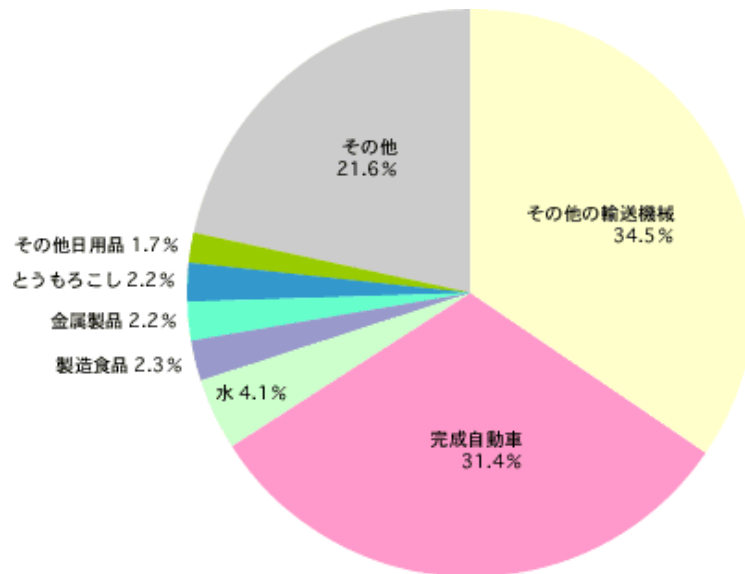
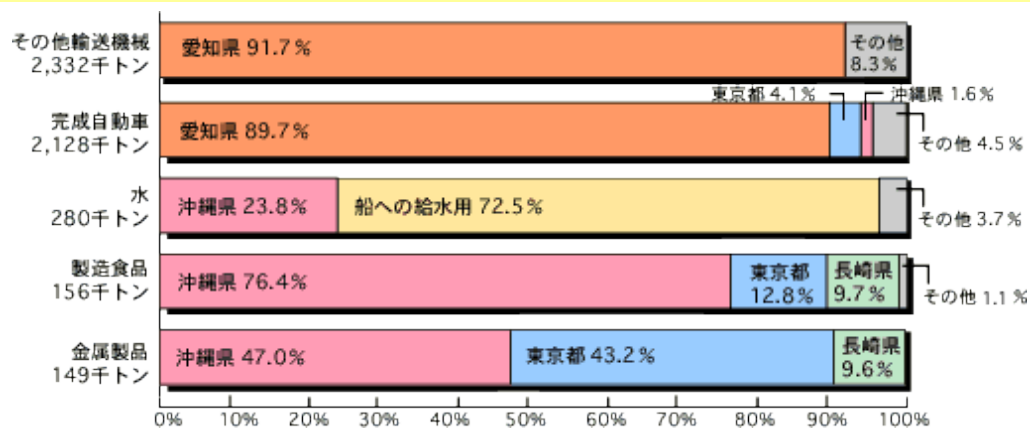


図-10 上位5品種の移出相手都道府県



3-2-2. 移入

(1)貨物量

移入貨物量は17,560千トン(前年比100.2%)であり、内国貿易の72.2%を占めている。<表-2, 図-8参照>

(2)品種別

移入貨物量17,560千トンのうち「石油製品」が4,260千トン(24.3%)、「完成自動車」が4,115千トン(23.4%)、「砂利・砂」が2,926千トン(16.7%)であった。<図-11参照>

(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、愛知県が3,298千トン(18.8%)、山口県が2,265千トン(12.9%)、東京都が1,849千トン(10.5%)以下岡山県・大分県と続いている。<図-8参照>

図-11 移入(17,560千トン)

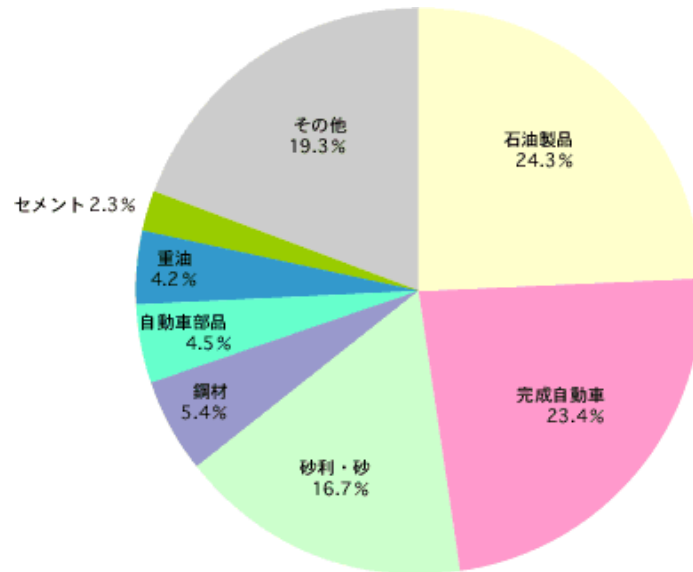
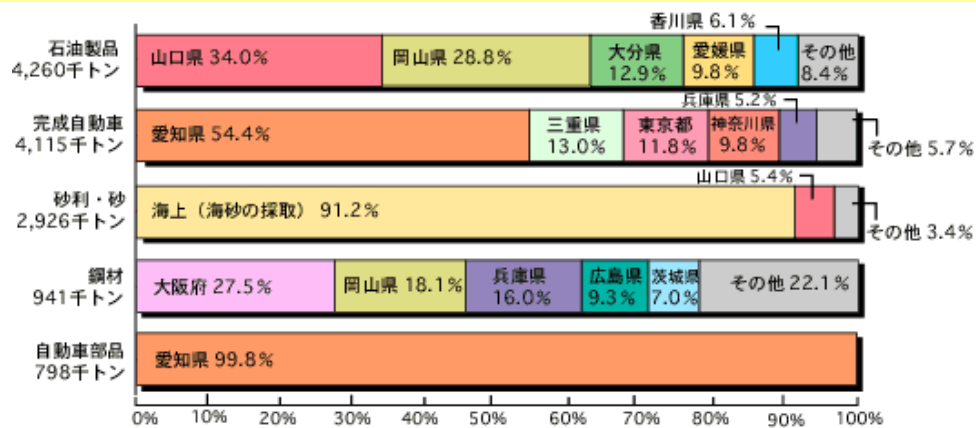


図-12 上位5品種の移入相手都道府県



4. 国際海上コンテナ貨物

国際海上コンテナ取扱個数は、510,721TEU(前年比 117.7%)と50万 TEU を突破した。なお、ダイレクトコンテナは473,952TEU(同 121.1%)、フィーダーコンテナは36,769TEU(同 86.5%)であった。<表-3, 図-13参照>

図-13 国際海上コンテナ個数の推移

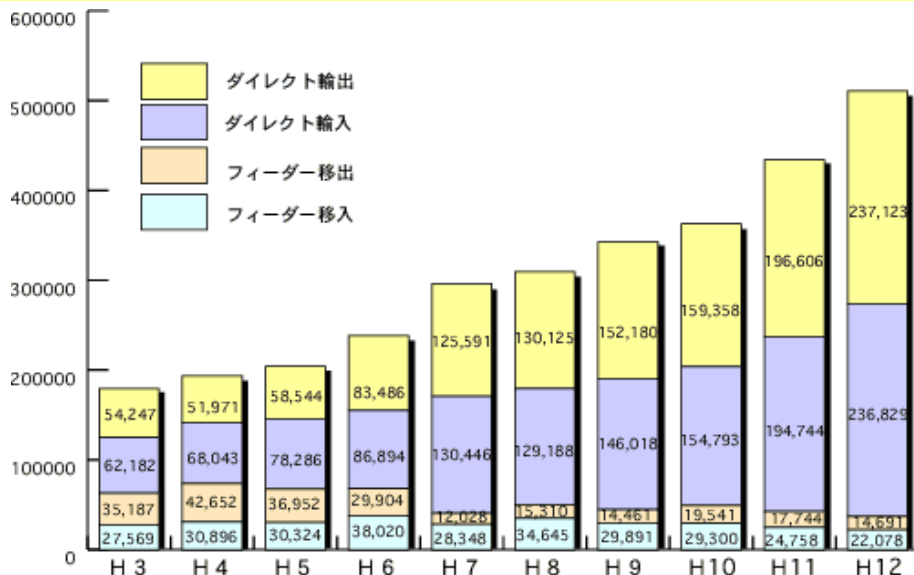


表-3 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成 12 年		11 年		10 年		9 年	
		個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比
(ダイレクト) 外国貿易	輸出	237,123	120.6%	196,606	123.4%	159,358	104.7%	152,180	116.9%
	輸入	236,829	121.6%	194,744	125.8%	154,793	106.0%	146,018	113.0%
	計	473,952	121.1%	391,350	124.6%	314,151	105.3%	298,198	115.0%
(フィーダー) 内国貿易	移出	14,691	82.8%	17,750	90.8%	19,541	135.1%	14,461	94.5%
	移入	22,078	89.2%	24,758	84.5%	29,300	98.0%	29,891	86.3%
	計	36,769	86.5%	42,508	87.0%	48,841	110.1%	44,352	88.8%
総数	輸移出	251,814	117.5%	214,356	119.8%	178,899	107.4%	166,641	114.6%
	輸移入	258,907	118.0%	219,502	119.2%	184,093	104.7%	175,909	107.4%
	計	510,721	117.7%	433,858	119.5%	362,992	106.0%	342,550	110.8%

※ TEU(Twenty-foot Equivalent Unit):コンテナ個数を数えるときの単位で、20 フィート換算個数のこと。20 フィートコンテナ 1 個が 1TEU です。40 フィートコンテナ 1 個は、2TEU となります。

※ 国際海上コンテナの考え方

博多港における実質的な外国貿易コンテナ貨物(最終的に諸外国の港湾との間で取り引きされるコンテナ貨物)です。

1) ダイレクトコンテナ(外国貿易扱い)

博多港と諸外国の港湾との間で直接取り引きされるコンテナ貨物です。

2) フィーダーコンテナ(内国貿易扱い)

国内の他の港湾で中継(トランシップ)され、博多港と諸外国の港湾との間で取り引きされるコンテナ貨物です。

5. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が40.1万人(前年比 147.3%)と40万人を突破し、内国航路は157.5万人(同 102.1%)となり、外内航あわせて197.6万人(同 108.9%)であった。

図-14 船舶乗降人員の推移

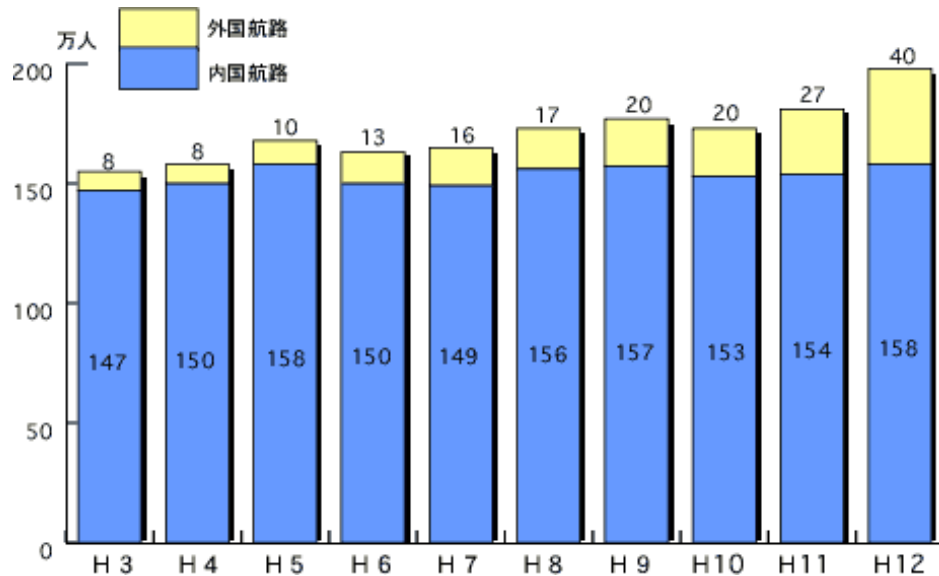


表-4 船舶乗降人員の推移

(単位: 人)

区分	平成12年		11年		10年		9年		
	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	
外国航路	乗込人員	202,930	146.4%	138,620	134.7%	102,923	100.8%	102,056	114.1%
	上陸人員	198,188	148.3%	133,639	134.9%	99,094	99.3%	99,752	116.9%
	計	401,118	147.3%	272,259	134.8%	202,017	100.1%	201,808	115.4%
内国航路	乗込人員	810,022	102.4%	791,019	100.2%	789,785	97.9%	807,003	100.5%
	上陸人員	765,347	101.7%	752,236	101.6%	740,030	97.5%	759,283	100.2%
	計	1,575,369	102.1%	1,543,255	100.9%	1,529,815	97.7%	1,566,286	100.4%
総計	乗込人員	1,012,952	109.0%	929,639	104.1%	892,708	98.2%	909,059	101.9%
	上陸人員	963,535	108.8%	885,875	105.6%	839,124	97.7%	859,035	101.9%
	計	1,976,487	108.9%	1,815,514	104.8%	1,731,832	97.9%	1,768,094	101.9%